

令和5年度大学コンソーシアムやまがた定期総会議事録

日時	令和5年6月28日(水) 14:00~15:05		
場所	山形大学事務局棟 第二会議室及びZoomによるWeb会議		
出席者	羽陽学園短期大学	:	渡邊 洋一 学長
	鶴岡工業高等専門学校	:	太田 道也 校長 →代理: 斎藤 菜摘 創造工学科 化学・生物 コース 准教授
	電動モビリティシステム専門職大学	:	清水 浩 学長 →代理: 小関 俊宏 事務局長
	東北芸術工科大学	:	中山 ダイスケ 副会長/学長
	東北公益文科大学	:	神田 直弥 副会長/学長 →代理: 三木 潤一 学部長 教授
	東北文教大学/東北文教大学 短期大学部	:	須賀 一好 副会長/学長
	〃	:	大桃 伸一 幹事会副委員長/副学長
	放送大学山形学習センター	:	安田 弘法 所長
	山形県立産業技術短期大学校	:	佐藤 俊一 校長
	山形県立農林大学校	:	菊地 繁美 校長 →代理: 小山 和彦 副校長
	山形県立保健医療大学	:	熊谷 岳郎 幹事会副委員長/理事・事務局長
	山形県立米沢栄養大学	:	
	山形県立米沢女子短期大学	:	阿部 宏慈 監事/学長
	〃	:	渡辺 博幸 幹事会副委員長/理事・事務局長
	山形県	:	小林 剛也 監事/総務部長 →代理: 五十嵐 裕彦 総務部高等教育政策・ 学事文書課高等教育政策主幹
	山形大学	:	玉手 英利 会長/学長
	〃	:	出口 毅 幹事会委員長/理事・副学長
	〃	:	栗山 恭直 企画会議委員長/教授
欠席者	東北芸術工科大学	:	若林 宏 幹事会副委員長/理事・事務局長
	山形県立保健医療大学	:	上月 正博 副会長/学長
	山形工科短期大学校	:	小幡 知之 学校長
陪席者	山形県	:	丹野 晴香 総務部高等教育政策・学事文書課主事
	山形大学	:	小山 和佳 学長付主幹専門員
	〃	:	樋口 浩朗 総務部長付上席専門員兼総務部総務課 社会共創推進事務室長
	〃	:	岡崎 勇樹 総務部総務課社会共創推進事務室主任
事務局	:	今野 浩美、羽角 扶美	

会議に先立ち、会長から、今年度新たに委員になった5名の紹介及び総会成立の報告があった。

[報告事項]

1 電動モビリティシステム専門職大学からの入会及び単位互換協定への加入について

事務局から、以下のような説明があった。

令和5年4月に開学された電動モビリティシステム専門職大学から、本会への入会及び単位互換協定への加入を希望する旨の連絡があった。入会については、幹事会においてその可否を決定し、会長から通知することとなっている。同大から、今年度からの入会希望を受け幹事会で審議し、承認されている。

同大から、資料1のとおり、6月15日付文書にて依頼があり、6月22日付文書にて正会員として加入を承認する旨回答している旨の報告があった。

2 第3期の事業評価結果について

会長から、資料2に基づき、期末の事業評価については、令和4年度に実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症による影響を考慮し、令和2年度に実施した中間評価を最終的な事業評価結果とさせていただきたく、昨年度末に各幹事会委員に書面にて意見を伺ったところ、特に反対のご意見が無かった旨報告があった。

引き続き出口幹事会委員長から、資料2の概要について報告があった。

3 令和4年度事業報告について

事務局から、資料3に基づき、以下のような報告があった。

- ・ 「地域貢献・活性化事業」について、新型コロナウイルス感染症の影響等により、一部実施できなかった事業があった。
- ・ 遊学館との共同事業を昨年度に引き続き2件実施した。
- ・ 「連携事業」単位互換の推進についても、新型コロナウイルス感染症の影響により、学生の受け入れを中止した大学等もあった。

[協議事項]

1 令和4年度収支決算（案）について

2 監査報告について

事務局から、資料4に基づき、以下のような説明があった。

- ・ 支出については、事業の未実施、実施回数の減等により執行残が生じた。
- ・ 収入決算額の5,305,328円から支出決算額の3,201,204円を差引いた2,104,124円が、令和5年度への繰越額となる。

引き続き、阿部監事から、資料5に基づき、令和4年度の会計監査について、適正である旨の監査報告があった。

次いで、会長から両議題について諮られた結果、承認された。

3 第4期大学コンソーシアムやまがた事業計画について

山形大学において、「大学コンソーシアムやまがた事務局」と「やまがた社会共創推進プラットフォーム（やまぷら）事務局」を担当している山形大学総務部社会共創推進事務室樋上席専門員から以下のような説明があった。

- ・ 資料6-1は、「第4期大学コンソーシアムやまがた事業計画策定」に向けての方針で、2ページ目は4月10日まで各加盟機関に意見を伺った際にいただいたご意見の抜粋である。
 - ・ 複数の委員から出された「やまがた社会共創プラットフォーム（やまぷら）との整理が必要」との意見を受け、資料6-2をコンソーシアム事務局で作成した。「やまぷら」と「コンソやまがた」の関係を双方の担当組織で整合を取りながら、早急に検討を進め、令和6年4月からの移行を円滑に進めるため、秋までには組織の大枠とともに会費の在り方についても提案したい。下段の想定される検討内容として、コンソーシアム事務局では、②中間案が妥当ではないかと考えている旨説明があった。
- 次いで、会長から、②中間案で今後検討を進めることについて諮られた結果、承認された。

4 令和5年度事業計画（案）について

事務局から、資料7に基づき、以下のような説明があった。

- ・ 資料7の令和5年度事業計画（案）については、やまぷらとの関係整理も加え、第3期事業計画に基づき作成しており、令和4年度の事業を一部整理している。「地域貢献・活性化事業の「遊学館との共同事業の開催」については、展示や連携企画の希望があれば、事務局に知らせていただきたい。

引き続き、出口幹事会委員長から、先日開催された幹事会において、生成系 AI に係る研修会について、一大学としての実施はできないが、コンソーシアムとして開催していただきたい旨要望があったことから、企画することを考えている旨報告があった。

本件に係る主な意見及び質疑応答は以下のとおり。

- ◎ 遊学館との共同事業について、高校生は様々な探究活動を行っているので、発表の場を設けてあげたい。やまがた夜話について、高校生が参加できる設定をお願いしたい。
- やまがた夜話については、これまでも高校生にオープンしている。実施方法については、課題があるので、それを踏まえて検討したい。
- ◎ 山形大学では、基盤教育ワークショップにおいて、生成系 AI をテーマに行うことを準備しており、ご案内したいと考えている。
- ◎ ダイバーシティについては、山形大学と米沢栄養大学で補助金を取り実施していたが、全体的な動きが無いので、必要であれば補助金を確保し実施することになる。その場合は、協力したい。

進学説明会を遊学館で行ったが、置賜地区の高等学校がなぜ山形市で説明を聞かなければならないのかとの意見があった。山形市のコンソーシアムでは無いので、検討いただきたい。

- 会場を設定して説明会を行うよりも今後はオンラインによる実施を検討したい。
- ◎ コンソーシアムに必要なのは、山形県内の大学について説明することができ、高校生に県内の大学に進学しようと言ってくれる人、業者であり、それにお金を使っても良いのではないのか。また、本学では、生成系 AI の導入について決定をした。導入するに当たり、生成系 AI、チャット GPT について、意見交換し情報を共有したい。

次いで、会長から本件について諮られた結果、承認された。

5 令和5年度収支予算(案)について

6 令和5年度機関負担金(会費)(案)について

事務局から、令和5年度収支予算(案)について、資料8に基づき、以下のような説明があった。

- ・ 事業毎の予算は、令和4年度の当初予算を基に計上している。
- ・ 支出について、やまがた社会共創プラットフォームとの共催で実施を検討しているやまがた進学大交流フェスタの事業費について、300,000円を追記している。以上の項目ごとの支出予算額が4,495,000円となり、予備費を1,162,981円とし、支出予算合計は、5,657,981円となった。
- ・ 収入については、支出額合計の5,657,981円から、繰越金2,104,124円、雑収入27円を差し引き、機関負担金収入は3,553,830円となる。

引き続き事務局から、令和5年度機関負担金(会費)(案)について、資料9に基づき、以下のような説明があった。

- ・ 昨年度の総会において㊸のとおり承認いただいているが、昨年度の各事業未実施に伴う執行残により、令和5年度への繰越額が、2,104,124円となり、また、令和5年度事業計画の見直しにより支出予定額が減少したことにより、今年度の機関負担金を見直すこととした。
- ・ 各機関の積算について、機関割分は変更せず、収容定員割分について、対象者1人当たりの単価を211.5円から140円とし徴収する。

次いで、会長から両議題について諮られた結果、承認された。

7 令和6年度機関負担金(会費)(案)について

事務局から、資料9に基づき、以下のような説明があった。

- ・ 例年、来年度予算の要求に必要な機関等もあり、この時期に翌年度の負担金を示している。
- ・ 昨年度の総会において確認いただいた令和6年度負担金を基に、令和5年度の収容定員で計算している。
- ・ 電動モビリティシステム専門職大学については、新設した機関への配慮として、完成年度までは、入会時の負担額とするよう提案している。

次いで、会長から本件について諮られた結果、承認された。

[その他]

1 その他

会長から、県全体として進学率を上げる取り組みについて、戦略的にどうするのか意見を伺いたい旨述べられ、コンソーシアム、やまぷらを使って国、山形県等への働きかけ、オンデマンド授業による単位互換の推進、やまぷらによる奨学金制度の新設、社会人の受け入れ等について、意見交換が行われた。

【配付資料】

- ・総会委員及び役員名簿
 - ・会則
- 資料1 大学コンソーシアムやまがた及び同単位互換協定への加入について（依頼）
- 資料2 大学コンソーシアムやまがた第3期（平成30年度～令和4年度）事業評価報告書
- 資料3 令和4年度大学コンソーシアムやまがた事業報告書
- 資料4 令和4年度大学コンソーシアムやまがた収支決算書（案）
- 資料5 監事監査に関する資料（6月5日：監事監査）
- 資料6-1 第4期大学コンソーシアムやまがた事業計画策定に向けて
- 資料6-2 「やまがた社会共創プラットフォーム」と「大学コンソーシアムやまがた」の整理について（案）
- 資料7 令和5年度 事業計画書（案）
- 資料8 令和5年度 大学コンソーシアムやまがた収支予算書（案）
- 資料9 令和5年度 機関負担金（会費）（案）
- 資料10 令和6年度 機関負担金（会費）（案）

議事録署名人

会長／山形大学長

五手英利